

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 160-0023
所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号 機構 03 - 081

電話番号 03-6279-0331
代表者氏名 理事長 中込 重秋

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小出 正治	福祉、経営	H0702006
	②	染谷 真希	福祉	H1102025
	③	柳 修二	福祉	H0702077
	④	山村 弘	福祉、経営	H0902065
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	リトルパルズ保育園六本木			
事業所連絡先	〒	106-0032		
	所在地	東京都港区六本木6-5-27		
	TEL	050-1741-0790		
事業所代表者氏名	増田 恵			
契約日	2023 年 8 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 10 月 16 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 12 月 27 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 10 月 3 日			
自己評価結果報告日	2023 年 12 月 27 日			
訪問調査日	2024 年 1 月 9 日			
評価合議日	2024 年 1 月 9 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面・ポスターの配信や配付・掲示等で保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と提出促進を兼ねたチラシの配信・配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの「らしさ」を育む保育を提供しています。 ・子どもの興味関心や発達に合わせて作られた「ウイズブック絵本」を毎日の活動に取り入れ「理性」「感性」「創造性」を伸ばし「そのらしさ」を育みます。 ・保育者はそれを引き出しそのらしさと自ら伸びるチカラを育みます ・子どもたちだけでなく保護者の皆様や関わる全ての人々の「その人らしさ」を大切に「楽しい」があふれる保育園であることを目指します。 ・子どもたちにとってチカラが育まれる「環境づくり」と「言葉かけ」を意識した保育を実践します。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを見守り育てること ・職員同士でよくコミュニケーションがとれていること ・自己管理ができること ・保育を楽しむことができ、ひとりひとりの「らしさ」を伸ばしながら愛情をもって関わるができる人 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任感を持って保育を行うこと ・職員同士、協力をしてチームで保育をする気持ちを大切にすること ・専門職というプロ意識をもって取り組むこと ・子どもの気持ちを深く理解し学ぶこと ・自身も楽しく仕事するために自己管理をしっかり行うこと ・自分の気持ちを伝えつつ周りの話も聞き、多角的に物事を捉えること

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯38(在籍児童数42)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	42
利用者家族総数(世帯)	38
共通評価項目による調査対象者数	38
共通評価項目による調査の有効回答者数	22
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	57.9

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」81.8%・「満足」9.1%の計90.9%と高い値を得ており、設問別では「整理整頓・清潔」「ケガ・体調変化への対応」「発達に配慮した保育活動」「食事」など全17問中15問で80~100%の高い支持を得ている。自由意見では「先生方がとても楽しそうに保育にあたってくれているので安心でき、また食育や英語、運動遊びなど教育的側面においても保育園としては十分過ぎるほど充実しており、給食もおいしく、おやつがすべて手作りというのもほかの保育園と比べて優れているところだと感じる」「先生一人ひとりがとても子どもが好きなのが伝わり、わずかなケガでもすぐ報告してくれ、病院に連れて行ってきてきちんとケアしてくれる。職員同士も和気あいあいとしていて職場環境がよさそうだ」「読み聞かせに力を入れていて子どもが本を好きになり、先生方も他のスタッフの方々もとても信頼できて安心して子どもを預けられ、残業等にも大変柔軟に対応してくれて感謝している」などの声が寄せられている。さらなる向上を望む意見としては、日常の保育内容、行事、安全管理に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	21	0	1	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が95.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は9件で、「お友達と集団行動をする中で協調性や刺激を受けて言語の発達につながったり、毎日同じルーティンできちんとお昼寝が取れるので安心できる」「外遊びや室内遊び、食育も含めすべてが子どもの心身の発達に役立っている」「先生方の細やかな声がけや対応、保育プログラムにより、めざましい心身の発達を感じる」などのほか、発達に見合った活動について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	19	2	1	0
「はい」が86.4%、「どちらともいえない」が9.1%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は7件で、「帰ってきてから、いつも楽しそうに話してくれている」「すべての活動が子どもの刺激になり、さまざまなことに興味を持つようになった」「身体を動かす運動遊びや未知のことへ挑戦する場面はとても楽しんでいる様子である」などのほか、遠足等行事の機会や保護者への子どもの様子の共有について、さらなる配慮を望む声が見られる。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	21	0	1	0
「はい」が95.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は11件で、「いつもおいしそうなお飯を作ってくれるだけでなく、食器も陶器を使用していて、エプロンも着けてくれ、また食育にも大変熱心でいつも感謝している」「とてもそう思い、おやつも含めてすべて手作りなので安心できる」「食育活動も採り入れており、子どもが素材に興味を持つきっかけとなっていると思う」「おいしくてよくおかわりしているようだ」などのほか、メニューや収穫体験について、さらなる工夫を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	17	4	1	0
<p>「はい」が77.3%、「どちらともいえない」が18.2%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は8件で、「晴れている日は毎日外遊びに連れ出してくれ、葉っぱを拾ったりアリを見つけたり、平日親ができないことを目一杯してくれている」「園庭はなくても、公園や近隣の方たちとの関わりなど持つことができよと思う」「求めている以上にさまざまな機会を作ってくれていると思う」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声が寄せられている。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	17	0	2	3
<p>「はい」が89.5%、「いいえ」が10.5%となっている。 自由意見は6件で、「非常に柔軟に対応してくれている」「とても柔軟に対応してくれていると思う」「いつも柔軟に対応してくれ、感謝しかない」などのほか、土曜保育やお迎えの遅れ等に対する融通性について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	19	2	1	0
<p>「はい」が86.4%、「どちらともいえない」が9.1%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は6件で、「園内にも近隣道路のマップがあり、子どもが見てもわかる危険な場所等明示されていて、その他項目もしっかりと準備対応してくれているように感じる」「感染症は発生するたびに報告があり、災害訓練なども定期的にしてくれて安心だ」「いつもとても丁寧にしてくれている」などのほか、外部侵入対策や保育中の安全管理について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	21	0	1	0
<p>「はい」が95.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は4件で、「事前に十分な余裕を持って案内してくれ、調整できている」「こちらの都合で参加できないことはあるが、十分配慮してくれていると思う」「個人面談以外の行事をすべて土曜日に行ってくれるので、とても助かっている」のほか、行事実施の頻度について、さらなる検討を望む声が見られる。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	21	0	1	0
<p>「はい」が95.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は8件で、「登園・降園時に子どもの様子を丁寧に伝えてくれたり、連絡帳で細やかなやり取りをしてくれるので信頼している」「毎日連絡通信アプリでの活動報告があることに加えて、お迎え時に必ずひと言その日の様子を直接話してくれるので、何かあれば気軽に相談できている」「どの先生もとても話しやすく、助かっている」などのほか、コミュニケーション機会の確保などについて、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	22	0	0	0
<p>有効回答者22人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は5件で、「いつもとてもきれいで換気もされている」「いつもとてもきれいだ」「施設はきれいだ」「清潔感があり、安心して」「コロナ禍も登園しており、先生方は大変だったと思うが、生活で安心できる環境を整えてくれていた」との声が寄せられている。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	2	0	0
<p>「はい」が90.9%、「どちらともいえない」が9.1%となっている。 自由意見は6件で、「いい先生ばかりである」「適度に話しやすい雰囲気だよと思う」「どの先生も清潔感があり、いつも穏やかで癒されている」「保育士はこうあるべき、と押しつけるようで回答が難しいが、保護者が安心できる振る舞いや言葉遣いをしてきている」のほか、職員の言葉遣いや子どもに対する接遇について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	22	0	0	0
有効回答者22人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は5件で、「引っかけ傷のような些細なケガでも連絡をくれたり、病院に連れて行ってくれる」「すぐに連絡をくれ、子どもを第一に考えてくれる」「きちんと連絡してくれる」「ケガの際もしっかりと対応してくれ、安心している」「丁寧に対応してくれている」との声が寄せられている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	16	3	0	3
「はい」が84.2%、「どちらともいえない」が15.8%となっている。 自由意見には、「まだ月齢が低いこともありあまりそのような場面に遭遇しないが、無意識に相手を傷つけてしまうようなシーンは、きちんと聞いて聞かせてくれている」「まだけんかをする年齢ではないが、物の取り合いなども丁寧な声かけをしてくれて、子どもが先生の言葉をまねて「かーして、どーおーぞ」が言えるようになっていたので、本当に丁寧に接してくれているんだと思う」「信頼している」の3件があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	21	0	1	0
「はい」が95.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は4件で、「子どもの成長も自分の子どものように喜んでくれ、必ず子どもの気持ちにまずそうだねと共感してくれている」「子どもの表情を見ていると先生が好きなんだなあと感じ、うれしい」「非常に尊重してくれている」のほか、園での子どもの様子等の保護者への伝達について、さらなる配慮を望む声が見られる。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	18	2	1	1
「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が9.5%、「いいえ」が4.8%となっている。 自由意見は4件で、「細やかに配慮してくれている」「気になったことは一度もない」のほか、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声寄せられている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	20	1	1	0
「はい」が90.9%、「どちらともいえない」が4.5%、「いいえ」が4.5%となっている。 自由意見は4件で、「日々の登降園時の会話や連絡帳、希望制の面談などで、細やかに対応してくれている」「とてもわかりやすいと思う」「いつも丁寧に説明してくれる」のほか、保育内容等に関する保護者との共有について、さらなる配慮を望む声が見られる。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	18	2	1	1
「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が9.5%、「いいえ」が4.8%となっている。 自由意見は4件で、「非常によく対応してくれると感じている」「信頼しているので、何かあった時に相談した場合は適切に対応してくれる」と思い、その前に先生方から行動してくれて不満や要望につながらないと思う」「不満はない」のほか、職員からの報告や、連絡等に関する組織内の情報共有について、さらなる配慮を望む声が見られる。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	12	5	3	2
「はい」が60.0%、「どちらともいえない」が25.0%、「いいえ」が15.0%となっている。 自由意見は3件で、「私がこの点に関して、これまで必要性を感じていなかった」のほか、外部の意見窓口の周知等について、さらなる配慮を望む声寄せられている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	ビジョン・理念等を保護者や職員に説明している 会社のビジョンのもと、「その子らしさと自ら伸びるチカラを育む」「子育てに頑張る家族に寄り添う存在でありたい」の2つを保育の運営理念として掲げ、運営会社のホームページや園のパンフレット、園のしおり等に掲載し、見学時や入園時での説明、園便りに掲載する代表メッセージ等を通じて保護者に伝えている。職員には、入職時のスタートアップ研修や、その後の折々の職員会議で説明するほか、休憩室に掲示する園便りの確認を通じて、ビジョンや理念等の確認と理解を促している。	
	安定した運営基盤の確立に向け、園長は職員の育成や地域との交流等に注力している 職種や職位に応じたグレードとそれに対する業務内容は「職務要件」に示されている。園長は、職員のグレードに応じた役割と達成すべきミッションを「ミッション面談」で職員に説明し、達成に向けた支援に努めている。開園3年目を迎える当園の安定した運営基盤の確立に向け、園長は職員の育成や地域との交流に注力している。職員には自己管理のほか、意識を高め専門職としての責任感を持つことを促すとともに、これに向け連携を図られるよう職員間の対話を促すことで、子どもを全員で保育し、笑顔があふれる園となるよう、取り組んでいる。	
	案件に応じた検討・決定の仕組みを整え、職員・保護者に周知している 月1回行われる法人の園長会では、系列園共通の課題等を検討し、各園では決定した方針を踏まえた取組を行っており、職員には必要な内容を共有している。園運営に関する重要案件については、必要に応じて随時開催するケース会議やリーダー層以上の職員が出席するリーダー会議等で、折々の課題や職員から挙げられた意見等の検討を行い、月1回実施する職員会議が最終的な決定の場となっている。各種決定事項は、緊急性に応じて会議での伝達や通信アプリによる配信等で、保護者には内容に応じて、園便りや運営委員会を通じて報告している。	

カテゴリ-2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
保護者や職員の声を園の運営等に活用できるようにしている 保護者の要望・意見等は、登降園時等で直接伝えられるほか、行事前の意向を調査する通信アプリによるアンケートや行事後に連絡帳を通じて寄せられる感想から、担当者が課題を抽出し、次年度の行事の参考としている。また今回の第三者評価受審にあたり保護者に実施した利用者調査の結果を今後の園運営に活かしたいと考えている。職員の意見・提案や意向等は、園内の会議で把握するほか、園長・主任がクラス巡回時、年2回の「ミッション面談」等の折に把握し、職員のクラスの配置や園運営全般の見直しに活かしている。		
地域のニーズや状況、業界の動向などの把握に努めている 園に見学時や地域の子育て支援として行っている「リトルパルズひろば」の利用時の未就園世帯との会話や感想などから地域の身近なニーズの把握に努め、参画する区や地区の公私立の各園長会等で地域の状況を収集している。また、業界の動向や福祉関連の行政の政策等は、同各園長会や行政等の各種通達のほか、運営会社からの発信などを通じて把握している。園の年間予算の立案とその執行状況の確認は本社が主体となっており、経営層が小口現金と一部の経費と職員の勤怠等の管理を行うなどして園の運営にあたっている。		
中期と単年度の計画や園目標を策定し、進捗状況の確認を行っている 本社の保育事業全体の運営面や保育面の各分野における課題や目標等に対する方針や取組を列挙した「中期計画書」を本社が策定している。園の事業計画では、中期計画書に連なる当年度の運営や保育提供、保護者・地域支援や人材育成、防災その他の安全管理などに関する取組や方針を定めているほか、次年度に向けた会議における職員の話し合いで園の年間目標を設定している。この他に保育や行事、防災等の各分野における年間や実施単位の計画を策定し、定期または実施後の反省等による進捗確認を行っている。		

3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし		1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし		1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし		2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
●あり ○なし		1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし		2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー3の講評		
遵守すべき規範等を明確にし、理解と徹底を促している 社会人や職員として守ってほしい、規範・倫理等は、系列園共通の「保育園運営マニュアル」、保育の場面ごとの子どもとの適切な関わり方や言葉遣いなどを「保育のガイドライン」に示し、入職時の法人研修で学ぶ機会を設けている。毎月の社内報「てとと」では、会社の代表メッセージを通じてハラスメントや言葉がけ等の啓発を行い、本社による「ラウンドレビュー」による点検と指導を行っている。また職員に配付する「不適切保育とは」の読み合わせし、区等のチェックリストや社内の自己評価による点検等を通じて、実践での徹底を促している。		
利用者の権利擁護として、苦情解決制度や虐待防止の仕組みを整えている 苦情解決の制度については、本社が苦情・要望に関する受付・対応フローを定めるており、保護者には、受付・解決の各責任者や第三者委員の氏名と連絡先のほか、窓口に関する情報を入園のしおりに掲載し、入園時に説明している。保護者からの意見・要望等は、直接口頭のほか、アンケート等で把握し、適切な対応に努めている。家庭における虐待の早期発見、関係機関への通告と連携等に関する手順を整備するほか、児童相談所の連絡先を事務室に掲示し、職員は視診等から虐待の早期発見に努めている。		
情報の発信や地域支援等に努め、地域のネットワークに参画している 施設の基本的な情報は、園や区の各市媒体から発信しており、園のホームページでは、地域の未就園世帯向けの保育所体験やウィズブックプログラムの体験する「リトルパルズひろば」、地域に開放する行事の案内を掲載している。実習生やボランティア等の受け入れ体制を整え、今年度は隣接する中学校から職場体験生を受け入れている。地区の私立保育園園長会や看護師会に参画しており、意見交換や情報共有を図るとともに、今後の保育所間の交流つなげられるよう話し合いを行っている。		

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>重要リスクに備え、手引書を整備し、法人・園での研鑽や、訓練を行っている</p> <p>系列園共通の「保育園運営マニュアル」に感染症対応や衛生管理、安全対策や事故予防、防災防犯などの重要リスクの対応する手順書のほか、緊急時の対応フローなどが定められている。事務室等には近隣の医療機関の一覧や必要な手順書を掲示するほか、職員が管理する「個人ファイル」にも必要な手順書を綴るなどして、随時確認・活用できるようにしている。入職時の法人研修のほか、安全計画に沿って、園内外にてAEDや心肺蘇生法の訓練、嘔吐処理やSIDS等の手順確認等を行い、緊急時に職員が対応できるよう取り組んでいる。</p> <p>多様な場面等を想定した防災や防犯の訓練を行い、事故やケガの再発防止等に努めている</p> <p>警察署や消防署と連携を図りながら、不審者対応や地震・火災の発生を想定した避難訓練を、戸外活動時や園長・主任の不在時、午前や午睡の前後など、さまざまな場面や時間帯で行っている。また、深刻な災害の発災に備えた事業継続計画(BCP)については、現在作成に取り組んでおり、今後の整備と運用が待たれる。園内外での子どもの事故・ケガの発生時には、定められた様式で発生状況等を記録し、事故・ケガに至らない、いわゆるヒヤリハットの収集にも取り組んでおり、会議等での共有と注意喚起によって、再発の防止や未然の事故防止に努めている。</p> <p>情報の適切な管理に向けた仕組みを整え、保護者への説明と同意確認を行っている</p> <p>個人情報保護に関するルール等は、「保育園運営マニュアル」に掲載し、入職時の研修等により職員の啓発を行い、情報漏洩の防止等の適切な情報管理に努めている。園で取り扱う重要書類は、事務室内の施錠可能な書類棚で保管し、閲覧にあたっては、許可を得るとともに事務室内で行うこととしている。事務室や現場で使用するPCやタブレット類・データには、パスワードによるアクセス制限を設け、業務終了には事務室に返却する仕組みとなっている。個人情報の利用目的や開示請求等の個人情報の取り扱い、入園時に保護者への説明と同意確認を行っている</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ5の講評		
<p>人材の募集・採用は本社と施設が連携して行い、人材育成の仕組みを整えている</p> <p>運営会社のホームページに、人材確保のための採用ページを設け、系列各園の募集広告を掲載し、系列各園の園長が、施設見学や採用面接などの協力をしながら、採用は本社が行っている。異動や配置は、園長との「ミッション面談」等で把握する職員の意向も踏まえ、各人の経験・特性等を考慮し、園内の状況に応じて行っている。職階・職種ごとの職務要件を定めた、系列園共通の人事制度と、これと連動する個人別の評価と目標管理の仕組みを整備し、入職時やその後の園長との「ミッション面談」でグレードに応じて達成すべきミッションを伝えている。</p> <p>ミッションシート等による評価・目標管理等により、職員の成長を支援している</p> <p>上記の評価・目標管理は、「ミッションシート」にグレード応じた職務要件に基づく評価項目と、職務要件以外に関する各人の目標について、半期ごとに自己・上司評価を行う仕組みとなっている。園長との「ミッション面談」を行う中で育成・処遇等に関する意向を把握している。新入職員向けのスタートアップ研修や園長向けの社内研修、オンラインの各種研修動画や講師来園による個別指導「ウイズブックレビュー」など、多様な社内研修を設け、職員の成長を支援する仕組みを整えている。</p> <p>各種研鑽を通じて知見を共有し、チームワークの促進に取り組んでいる</p> <p>系列園共通の保育の柱である「ウイズブックプログラム」の園での実践に向け、中心となるリーダーを配置し、現場主導で進められるよう取り組んでいる。て園内研修等により、各クラスの同プログラムの活動を見せ合い、意見交換を通じて、職員相互に知見を共有するなどチームワークの促進と同僚性の向上につなげられるようにしている。また、上記の各種研鑽の受講後には、職員が作成する報告書の閲覧等で知見を共有できるようにしている。</p>		

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>昨年度、年間で3人の園長が交代する環境下で、会議が本社からの伝達のもととどまるなど、組織内の情報共有による職員の連携が課題となっていた。職員会議での職員間の話し合いを通じ、「職員間で情報が共有され風通しのよい環境の保育園」を年度後半の目標とし、職員間のコミュニケーションの促進や情報共有の徹底に向けて取り組んでいった。</p> <p>職員ノートや名簿を活用して職員間の情報の共有を図るとともに、組織用の通信アプリを導入した。その導入にあたっては、職員からの情報を発信する大切さや責任、情報を確認する必要性を認識できるよう取り組んでいった。</p>	
目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>組織用の通信アプリにおいて、情報の更新があった場合には、ポップアップの表示の工夫によって職員の閲覧を促しながら進めていった。情報の共有の徹底については工夫の余地がうかがえた一方、職員からの発信による保護者の状況や伝達事項を共有できるようになったと経営層は考えている。</p> <p>今年度は昨年度の取組を継続し、風通しのよい環境の保育園を目指す中で職員間の連携が図り、子どもを全職員で保育することを目指すこととした。</p>	

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

上記の評価項目1と同様に、職員の話し合いを通じ、栄養士・看護師・保育士が、それぞれ自身が良いと思う保育の実践を通じ、よりよい保育園となるよう考え、「給食のいいにおいが子どもたちが笑顔にあふれる保育園」を目標に据えた。栄養士は給食室から出て、子どもたちの食事の様子を見に行くこととし、保育者は子どもたち一緒になって楽しんで「ウィズブックプログラム」に取り組むこととした。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年度は運営基盤の確立に特化するなどの諸般の事情により、目標にした一部については対応できなかった結果となった。栄養士の取組については、栄養士が子どもたちと会話したり、子どもたちが栄養士の名前を覚えるくらい関わったりし、互いを知ってほしいことを目標に、今年度は栄養士が担当するクラスを自身で決め、積極的に子どもたちと関わるとともに、給食を通じて異文化理解につなげたり、食事のマナーを育むこととした。保育士の取組については、同プログラムを行うようになったので、今年度は保育士の「自分らしさ」もプラスして取り組んでほしいことを目標に、同プログラムの実践にあたり、それを展開するリーダーを配置することとした。あわせて園内研修等により、各クラスの同プログラムの活動を見せ合い、意見交換を通じてよりよい活動となるよう取り組むこととした。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>ホームページに、大切にしている事項や特徴的な取組、園紹介の動画などを掲載している</p> <p>会社のホームページ(以下、「HP」)では、子ども一人ひとりの無限の可能性を信じ、「その子らしさ」を育み、その目を大切に子どもを支援することを表明するほか、「感性、理性、想像性」という保育のキーワードに関する説明を行っている。また、オリジナル絵本の読み聞かせから広がる体験活動「ウィズブックプログラム」と、食育活動などについて、写真や端的な表現を用いて紹介している。各園のページでは園の概要や紹介メッセージとともに、施設の紹介動画や、園舎内の写真を掲載し、在宅においても園の雰囲気や伝わるよう工夫している。</p> <p>ブログや地域向けのイベント案内を発信しており、行政と連携した情報公開も行っている</p> <p>上記に加え、子どもたちの様子や活動・行事などの一端を紹介する園ブログを定期的に更新するほか、年6回、地域の未就園児向けの保育所体験会「リトルパルズひろば」を開催しており、HP上での広報や見学者への誘い掛けを行っている。園の概要がわかるようなパンフレットを準備しており、見学者等に配付している。行政と園との情報共有を図っており、区のサイト内や入園関連の資料などで、園の基本情報が掲載されるほか、時期によって年齢別の入園可能数が公開されている。今年度、第三者評価を受審し、結果を都HPで公開することとなっている。</p> <p>園見学では、特徴的なプログラムや利用にあたっての内容などを説明している</p> <p>見学の予約はウェブ上で受け付けており、都合の合わない場合は電話での問い合わせにも応じている。火・水曜日を中心として9時30分から受け付けており、園見学のみならず、親子で一緒に午前の活動への参加も可能となっている。園見学では各フロアを回りながら設備を見てもらうとともに、「WBプログラム」やネイティブの方とのふれあいができる「WBイングリッシュ」、運動遊びなどの園の特色を説明している。また質疑応答をしたり、連絡アプリの活用や乳児用のエプロン等の園での提供など、問い合わせの多い負担軽減に関する事項も伝えている。</p>	

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園時には利用開始にあたっての重要事項の説明と、同意確認を行っている</p> <p>入園が内定した方には、全体説明と個人面談等を行っており、事前に入園のしおり(重要事項説明書)を配付し、一読を依頼している。当日は入園のしおり(重要事項説明書)をもとに、園の開園時間や休園日、延長保育の時間と利用料、園利用にあたってのお願い事項などを説明するほか、ケガや体調不良時の対応、子どもの健康管理や生活リズムの大切さなども伝えている。また持ち物の一覧表、新型コロナウイルス感染症対策の書類を渡し、その内容を説明している。これらのうえで重要事項の説明内容や子どもの肖像等の利用に関する同意確認を行っている。</p> <p>子ども一人ひとりの成育歴や健康状態などを、保護者から聴き取っている</p> <p>入園時には、保護者に記入・提出してもらった「入園までの生活状況票」「家庭状況票」「予防接種記録票」などで、子どものこれまでの生活状況等を把握している。また、「新入園児面談シート」をもとに、健康面や1日の生活リズム、食事・睡眠・排せつと好きな遊びなどのほか、保護者の子育ての考え方や意向などを聴き取っている。0・1歳児は食材チェック票を渡し、家庭で試した食材を確認したり、食物アレルギーがある場合は別途書類を取得し、看護師・栄養士等の専門家が同席したうえで園での対応や配慮などを相談し、入園後の支援に役立てている。</p> <p>利用開始直後の親子の不安軽減に努め、利用終了後の支援の継続にも配慮している</p> <p>面談の際には、子どもの様子や保護者の事情などを相談しながら、「慣れ保育」のスケジュールを決定している。子どもが安心して園生活に順応できるよう、短時間の保育利用から給食・午睡・おやつを段階的に経験しながら、通常保育への移行を支援している。保護者との密なコミュニケーションを心がけ、その日の子どもの様子を伝えたり、状況によって柔軟に日程変更に応じたりしながら、その子にとって無理がないようにしている。転園・退園等での不安があれば送迎時の会話等でフォローするほか、夏祭りに招待するなど、関係継続に配慮している。</p>			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引き継ぎ等を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p>子どもに関する情報を保護者から聴き取り、日々の保育に活かせるようにしている</p> <p>入園時の面談で家庭での生活状況、1日の生活の流れや保護者の子育ての考え方を聴き取り、各クラスで共有し、日々の保育の中で活かせるようにしている。入園後も日頃の会話や連絡アプリのやり取りで園と家庭との情報共有を図り、その子に合った支援となるよう努めている。また希望者は年2回対面で個人面談を行っており、子どもの園の様子や保護者の要望、困りごとなどを聞き保育に活かすことができるようにしている。その他、個人面談期間でなくても保護者からの面談の要望にも対応しており、保護者が相談しやすいようにしている。</p> <p>全体的な計画や子どもの様子を踏まえた各指導計画を作成している</p> <p>系列園共通の全体的な計画をもとに、園の地域性や子どもたちの様子などを踏まえて、年・月・週の指導計画を作成している。また、2歳児までは個別の月案があり、一人ひとりの子どもの発達を追求することができるようにしている。これらの計画は実施後の評価反省や子どもの様子・保育の記録を行うこととなり、保育ICTシステムを活用することで、担当職員が入力した内容を他の職員が適宜確認ができるようになっている。</p> <p>子どもに関する情報の共有と引き継ぎを行い、保護者に保育や発達の目安等を伝えている</p> <p>子どもに関する情報は前述のICTシステム内の閲覧のほか、クラス会議やリーダー会議などを実施し、各クラスの子どもの様子や活動・行事等の内容について情報共有をしており、日々の変化や情報の引き継ぎは「登降園チェック表」を活用している。保護者会を開催し、資料をもとに年齢ごとの発達の目安や特徴、クラス内での子どもたちの様子や保育で大切にすることなどを伝えている。また運営委員会や園便りなどで、子どもの様子や保育の目的を伝えるほか、日々の保育の様子は乳児クラスが連絡帳アプリで、幼児クラスが掲示にて保護者に知らせている。</p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもの羞恥心の配慮に物的・人的環境の両面で取り組んでいる</p> <p>日々の着替えやプールの際などはロールカーテンを閉めたり、プールの際には外部からの視線を遮るようにタープを張ったりしながら保育をしている。また、排せつの失敗などもトイレ内を着替えるようにし、失敗を責める言葉がけではなく、本人の自尊心を傷つけないような対応を心がけるなど、物的・人的環境の両面で取り組むことができるようにしている。保育者はこれらの対応をアプリ上で学ぶことができるようになってきている。子どもに関する情報を外部とやり取りする必要が生じた場合には、その都度保護者に確認することとしている。</p> <p>子どもへの適切な対応や保育の実践に向け、自己評価や研鑽等を行っている</p> <p>職員会議では「不適切な保育に関するガイドライン」をもとに、その定義と具体的な事例などを職員と確認し、組織内での認識を深める機会を設けている。また会社共通の「保育のガイドライン」には望ましい保育や子どもとの関わりを具体的な事例が示され、入社時に研鑽を図っている。この内容を踏まえた定期的な自己評価が行われ、各自の振り返りがなされている。さらに園長が所定の項目をもとに園内を点検するラウンドレビューを行っており、その結果をもとに、子ども目線や自己肯定感を育む配慮・声掛けなどのクラスごとで話し合いを行っている。</p> <p>各家庭の状況を踏まえた支援を心がけ、保護者支援の研鑽や虐待対応の備えを行っている</p> <p>各家庭の生活習慣や価値観等は日頃の会話や個人面談を通じて把握し、それを受けとめつつ、可能な配慮や支援に努めている。職員には子育て学講座での研鑽を推奨しており、保護者支援の観点から資質向上を図り、日々の対応に活かせるようにしている。関連する研鑽の定例化は検討の余地があるが、職位・職責に応じて、キャリアアップ研修を受講させており、保護者支援・子育て支援に関する学びを深めるほか、虐待の発生時に備えたマニュアルとフローチャートの事務所内での常備及び通報先の掲示などを行っている。</p>			

サブカテゴリ-6	
6	<p>事業所業務の標準化</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5</p>
<p>評価項目1</p> <p>手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている
○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
○非該当	
<p>評価項目2</p> <p>サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている
○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている
○非該当	
サブカテゴリ-6の講評	
<p>運営全般や一連の保育の流れなど、必要な手順と考え方などをマニュアルに示している</p> <p>園運営全般の内容を定めた「運営マニュアル」のほか、感染症対策や衛生管理マニュアル、給食ガイドラインなどが定められており、事務所での常置や社内共有サーバー内での閲覧が可能となっている。また、会社共通の「保育のガイドライン」には、朝の受け入れから自由遊び、食事・睡眠・排せつなど、保育に関する一連の流れとそれに伴う手順や考え方をまとめており、これに併せて望ましい子どもへの関わりや対応なども記載している。これを入社時の研修で学ぶ機会を設けるほか、具体的な手順については動画で共有できるようになっている。</p> <p>定められた手順や保育の実践等について、多様な意見等を踏まえて見直すこととしている</p> <p>各種マニュアルや帳票等の変更については本部の園長会で検討・決定がなされており、決定された内容が各園に展開されることとなっている。また「ウイズブックプログラム」は講師が各職員が実践する姿を見て、その後の指導・助言を行うなどして、会社・園の大切にする保育の手法を高めるための支援を行っている。園内では職員や保護者の意見などを踏まえ、見直しや改善に取り組むほか、毎月、区のアドバイザーの巡回があり、保育や運営などに関する助言を得られる機会となっている。</p> <p>子どもたちへの安全な保育提供に向け、さまざまな訓練や啓発に取り組んでいる</p> <p>子どもたちへの安全な保育提供に向け、警察署・消防署との連携を図り、消防・不審者訓練を行うほか、職員が随時、救急救命の講習を受講することになっている。また園内で看護師の指導・助言が行われており、年度当初にはSIDSの発生リスクと要因を知らせ、実際の呼吸確認等の手順を確認するほか、プール活動前には安全配慮や熱中症対策、救急救命措置の手順と実践の訓練に取り組んだり、冬の時期には嘔吐処理の手順確認と訓練を行うなど、必要な内容の周知と徹底を促している。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	●非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達や興味に合わせ、室内の玩具や環境設定を変化させるなどの工夫をしている</p> <p>各保育室には絵本や手作り玩具、構成遊びができる環境が準備しており、子どもが自由に手に取ることができるような環境設定をしている。環境の見直しは、子どもの遊んでいる様子や発達を見ながら入れ替えをし、各クラスでの連携や話し合いを行いながら適宜変更を行っている。また室内にマット等を設置して子どもたちがハイハイや段差を乗り越えたりして身体を動かしたり、年齢によって3階のフリースペースを活用し、鉄棒・跳び箱等の運動器具を使った運動遊びに取り組み、心身の豊かな育ちにつながるよう工夫している。</p> <p>さまざまな違いを認め合う心の基礎を、日頃の生活の中で自然と学べるようにしている</p> <p>「ウィズブックイングリッシュ」ではネイティブの講師の方の英語のレッスンを受けたり、日中に保育に入り、子どもとやり取りを交わす機会が持たれるなど、多様性を尊重する心の基礎を養っている。また地域の特性上、外国にルーツを持っている子どもがいる中で、自然と子どもたちが関わる環境となっている。日本語が話せない子どもには、簡単な言葉やジェスチャー等を交えて、保育者が子どもとのコミュニケーションを図り、安心できるような配慮を行うとともに、他の子どもとの仲介をしながら、子ども同士の関わりが持てるような援助を行っている。</p> <p>子ども一人ひとりの状況を把握し、状況に応じた援助と配慮に努めている</p> <p>特別な配慮を要する子どもについて、一人ひとりの状況を把握するとともに、専門機関の方に実際の様子を見てもらい、アドバイスをもらうなど、日々の保育中での個別の支援や配慮に活かしている。また専門機関や保護者との連携を図り、子どもの様子を共有し、その子にとってよりよい援助や支援の方法を検討しながら対応している。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに関しては、その子の状況を見たり、聞いたりするほか、年齢によって言葉にならない思いを代弁したり、仲介しながら解決へと導くなどの援助を行っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>家庭の状況を踏まえ、子どもの月齢や発達に合わせながら生活リズムを整えている 登園時間の大きな目安はあるものの各家庭の状況に合わせて登園の受け入れをしている。集団での生活リズムをベースとしながらも、子どもの発達や家庭の状況に合わせて生活リズムをつくることができるように配慮している。家庭の様子と園での様子を伝え合うとともに協力することができるよう工夫している。特に乳児クラスは、午前寝や夕寝等他の子どもが遊んでいる間に入眠することがあることも踏まえ、低月齢はベビーベットで寝ることで休息の保障に努めている。</p> <p>基本的な生活習慣が身につくことができるよう、発達に合わせた支援をしている 乳児クラスではトイレトレーニングをすることができるよう、保育室の隣にトイレがあり、子どもたちが行きやすいような環境設定をしている。保育室内に、食事の際のご飯の置き方見本が貼ってあり、自然と生活習慣が身につくように工夫をしている。ほかにも手洗いや幼児クラスはうがいなどの習慣がつくように取組をしている。毎週月曜日は爪チェックの日としており、保護者も意識することができるように工夫をし、園と家庭とで連携をしながら、子どもの安全・衛生的な習慣づくりに取り組んでいる。</p> <p>日々の連絡アプリと写真付きの掲示物などで、子どもの様子を共有している 乳児クラスはアプリ上の連絡帳で、幼児クラスは写真付きの掲示物で毎日の保育の様子が保護者にわかりやすくなるように工夫をしている。毎日保育者が撮った写真はアプリ上に公開され、子どもがどんな様子だったのか文章で伝わらない部分や子どもの表情などもわかるようにしている。朝の受け入れとお迎え時の対応など、保護者とのコミュニケーションを図り、子どもの様子を伝えたり、家庭での状況を聴き取ることで一人ひとりの様子を共有している。また複数の職員で対応するため、情報伝達の漏れがないよう、所定の様式を活用し、引き継いでいる。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>心の安定・自律などを大切に、その子らしさを育むことができるように努めている</p> <p>保育活動をするうえで一人ひとりの個性や「その子らしさ」を大切にするためにさまざまな工夫をしている。子どもたちが自分で選択をすることができるよう、活動の内容を設定している。例えば、制作の素材も限定するのではなく、数種類の中から子どもが自分で道具を選んだり、好きな色を選ぶなど、年齢・発達の違いがある中でも、一人ひとりの意思や選択を尊重できるようにしている。また室内での遊びも子どもが好きな玩具を選んで遊び込むことができるように環境を整えており、これらを重ねることで、心の安定や自律等へとつながるよう支援している。</p> <p>近隣の公園を活用して季節の移り変わりを感じたり、制作に活かすなどの工夫をしている</p> <p>天気の良い日には積極的に戸外活動を採り入れており、バスが見える場所や消防署など子どもの興味のある場所に出かけるほか、六本木西公園やさくら坂公園など園周辺の地域資源を活用し、子どもが身体を動かしたり、毛利庭園で季節の移り変わりを身近に感じることができるようになっている。さまざまな場所で季節ごとの自然物を採取したり、虫等の発見を楽しむほか、秋には落ち葉やどんぐりを拾い、持ち帰って制作に活用したり、乳児クラスでは、空き容器に入れて楽器を作るなど発達に合わせて遊びに採り入れる工夫をしている。</p> <p>集団の生活を大切にしながら、一人ひとりを尊重した保育実践に努めている</p> <p>簡単なルールのある遊びを2歳児頃から採り入れ、子どもが遊びの中でルールがあることを知ったり、そこから他の子どもと一緒に約束を守りながら遊ぶ楽しさに次第に気がつけるような声かけと支援を行っている。やりたいという気持ちとうまくできない心の葛藤などを職員が受け止めながら、自分でできるような手伝いや促しをするなど、保育者がなんでもして教えたりするのではなく、子どもが自分の気持ちと折り合いをつけられるようにしながら、自立に向けての援助や支援を行うことができるよう、一人ひとりに合わせた対応を心がけている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日頃の保育や子どもの興味と行事と結びつけ、自ら取り組めるような配慮をしている 行事の目的を意識し、子どもの様子や興味から行事やその後の活動につなげる工夫を行っている。夏祭りでは、子どもたちが毛糸で作った焼きそばを販売し、祭りならではの雰囲気や皆で楽しんでいる。また行事当日スタンプを押してもらって品物を交換することなどに興味を持った様子から、その後の保育の中でごっこ遊びに広げるなど、つながりを持った活動を展開できるよう配慮している。運動会では親子でのふれ合いを楽しみ、毎週行っている運動遊びでできるようになったことを保護者の前で発表し、達成感や満足感が得られるようにしている。</p> <p>保護者の参加や理解が得られるよう、保育や行事を見てもらうための工夫を行っている 年間行事予定を4月の保護者会で伝えるほか、園便りや行事開催のお知らせ等で日程だけでなく、子どもの様子や行事までのプロセス、目的なども知らせ、保護者が行事への期待感を持つことができるような配慮を行っている。また普段の活動の理解を得るため、「ウイズブック保育参観」を行い、5月は、0・1歳児は保護者と一緒に活動し、2歳以上児は子どもの様子を見てもらう形式をするほか、11月に実施した際にはオンライン配信を行うなど、より普段の子どもたちの様子を見てもらえるような工夫と配慮がなされている。</p> <p>食事や歌等と関連させながら、季節や文化にちなんだ行事に親しんでいる 季節や文化にちなんだ行事を採り入れており、制作・歌・食事などに関連した内容で、子どもがその行事に親しめるようにしている。例えば、クリスマスの際にはパネルシアターをみたり、歌を歌ったりして楽しむとともに、給食がサンタのご飯やトナカイのハンバーグ、おやつがクリスマスツリーのカップケーキなど、その一日の期待感や楽しさが高まるよう工夫している。子どもの日の集いには各クラスの子どもたちが作った制作を皆で紹介し合ったり、ハロウィンの際には衣装を来て、地域内を回ってやり取りを楽しんだりするなど、さまざまに取り組んでいる。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもたちの自然な関わりを支援し、安心して過ごせるような環境等の配慮をしている</p> <p>園生活の中では異年齢の子どもたちで関わることもあり、一緒に遊びや散歩を行ったり、お世話をしたりされたりする機会が持たれており、できるだけ家庭的に過ごすことができるような保育者の関わりを心がけている。長時間の保育で子どもが疲れを感じることもあるため、その時の子どもの様子に合わせて提供する玩具を変えるなどの配慮をしており、各クラスにマットなど子どもが落ち着ける環境を準備し、ゆっくりと過ごせるようにしている。また人数が減ってきた時に子どもが寂しくならないように、安全面を考慮しながら徐々に合同保育を行っている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>食物アレルギーや離乳食への対応など個々の状況に応じた配慮に努めている 食物アレルギーがある場合は、医師の指示書をもとに詳細な情報を確認しており、園で対応可能な範囲での除去食を提供している。実際の食事提供にあたっては、トレーや食札などについて他の食事との違いがわかるよう、視覚的な認識を高める工夫をするほか、調理・配膳・提供の各段階で確認することで、誤食・誤提供の防止に努めている。離乳食は食材チェック表を使用し、未食の食材がないよう、家庭で試してもらったものから提供している。保育者や栄養士が子どもの口の発達と食べ進めの様子を確認し、各家庭と連携・共有しながら段階を移行している。</p> <p>食事の内容・メニュー等の工夫を凝らし、子どもたちが食事を楽しめるようにしている 食事提供では、安心・安全な手作りのおやつと添加物の少ない新鮮な食材の使用を心がけ、旬の食材を採り入れ、和食・洋食・中華のバランスと統一感のある献立内容とし、素材の味を大切にする薄味の調理に努めている。また磁気の食器を使用し、季節・文化にちなんだイベント食を提供することで、子どもたちがさまざまな食材に触れ、食べることへの興味・関心や意欲を引き出すような工夫をしている。また保護者にも給食便りを通じて、子どもたちの食事やクッキングの様子を知らせたり、園で提供する食事の人気レシピを紹介することも行っている。</p> <p>食育活動を通じて、食への興味・関心や意欲を持つことができるように工夫をしている クッキングは完了食以上の子どもが参加しており、発達に合わせその子どもたちが無理なく食に興味を持つことができるような配慮をしながら取り組んでいる。例えば、10月は手づくりジャムサンドに取り組み、0・1歳児はリンゴと人参に触れ、チャック付きポリ袋に入れたリンゴと人参を潰し、2・3歳は潰したものを鍋に入れて砂糖を入れて混ぜ、ジャムをパンに塗るなどを行っている。また、栽培に取り組み、生長を観察しながら心待ちにするとともに、育ったオクラを給食に入れてもらうなど、保育と給食をつなげ、食への意欲や興味・関心を高めている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが健康的に過ごせるよう、年齢に応じた支援に努めている</p> <p>保育の計画に健康面でのねらいを定めており、汗をかいたら着替えたり、暑い時には自分の言葉で伝えたりと、子どもが自ら意識し、取り組めるような支援を行っている。日々の登園後や生活の場面ごとで、年齢・発達に応じて子どもたちが手洗いに取り組むほか、3歳以上児は食後のうがいや歯磨きに取り組んでいる。また、2歳以上児に対して手洗い・うがい・歯磨きの指導を行っており、看護師が手作りのものを使用してわかりやすく子どもに伝えている。その他、目の話や視力検査等にも取り組んだり、昨年度はプライベートゾーンに関する話をしている。</p> <p>危険の回避を意識したり、運動遊びを通じて体幹・体力の向上につながるようになっている</p> <p>子どもが安全に過ごせるよう、散歩の前や公園到着後などでは交通マナーや遊びの約束ごとなどを知らせている。幼児クラスを対象として、警察署員による安全教室があり、映像を見たり、横断歩道の渡り方の疑似訓練を行ったりして、交通ルールや安全な歩き方などを学んでいる。ケガ等の予防や身体バランスの向上などを意識し、0歳児から室内でハイハイをしたり、1歳児以上で毎週木曜日の運動遊びを採り入れており、年齢に合わせてジャンプや走ることの動きをしたり、滑り台・マット・鉄棒などの運動器具を用いた活動をさまざまに行っている。</p> <p>嘱託医や保護者との連携を図り、子どもの健康管理やケアにあたっている</p> <p>嘱託医との定期健診では子どもの健康状態や発育の推移などを確認・記録しており、健診結果は保護者にも共有している。また保護者が気になることがあれば、看護師や保育者を通じて、医師に相談し、それに対する回答を得ることも可能となっている。園でも嘱託医に随時相談できる体制があり、地域の感染症の情報を把握し、組織内での共有と職員への注意喚起に役立っている。区の感染症の罹患後の対応と基準を保護者に配付するほか、入園時の説明や保健便りの発行など、子どもの健康管理や感染予防などの情報提供を行っている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>各家庭の事情や子どもの状況等を踏まえ、さまざまな配慮を行っている 各家庭の事情や子どもの状況等については、日々の送迎時のコミュニケーションや連絡アプリのやり取り、入園時及びその後の随時の個別面談などを通じて把握しており、時には相談に応じるなどして、個別の配慮に活かせるようにしている。就労等による延長保育や土曜保育の受け入れや夕食・補食の提供などの園の可能な限りでの柔軟な対応を行うほか、アプリを活用した情報共有と各便りなどの配信、乳児の食食用エプロンやおしぼりの園での提供、使用済みの紙オムツの園での処分など、保護者の就労と育児の両立へのさまざまな配慮をしている。</p> <p>行事参加に関する配慮をしつつ、親子や保護者同士の関わりが持てる機会を提供している 保護者が参加する行事は土曜日に設定しているが、各家庭の状況や地域性を踏まえ、オンラインを活用したり、自由参加として負担がないようにするなどの配慮を行っている。また運動会では保護者参加の競技に関するアンケートを実施し、意向を確認したうえで親子での競技やふれ合い遊びなどを楽しめるよう工夫するほか、夏祭りではゲームや出店、盆踊りなどを保護者と一緒に楽しむなど、皆で楽しめるような内容としている。これらの行事参加を通じて保護者同士の関わりが持てるようになっており、保護者会の際には顔合わせと自己紹介を行っている。</p> <p>小規模園での特性を活かしたコミュニケーションを大切に、子どもの様子を伝えている 小規模園での特性を活かし、職員と保護者との関係性を深められるよう、日々のコミュニケーションを大切にしながら、子どもの様子を伝え合っている。0～2歳児の連絡アプリの活用や3歳以上児の日頃の活動の報告、写真販売を通じた子どもの様子の共有などを行うほか、園ブログも活用しており、更新時に玄関付近の掲示でその情報を知らせている。また年2回の「WB保育参観」では朝の会や絵本を用いたウィズブック活動の様子などを見てもらうほか、その後に保護者会で、年齢ごとの発達の目安や特徴、保育で大切にすることなどを伝えている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>身近な環境を活かした活動や職員以外の人との交流などを行っている</p> <p>近隣の環境を活かし、商業施設内や庭園を散策したり、さまざまな発見を楽しむほか、食育の一環として近隣の商店で子どもたちが食材を購入したり、ハロウィンの際には仮装して近隣の方や大使館、嘱託歯科医を訪ね、やり取りを交わすといった体験が得られている。毎週火曜日の「WBイングリッシュ」でネイティブの講師の方と一緒に子どもが楽しみながら英語に親しむほか、区のふれ合いアートの方が来園し、子どもたちが科学実験を楽しむ機会も設けられている。その他、小・中学生の職場体験を受け入れ、少し年上の人との関わりを持っている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル①	専門職の知見を活かし、子どもや保護者への保健・安全面の支援を行っている	
内容①	看護師による職員指導では、年度当初にSIDSの発生リスクと要因を知らせ、実際の呼吸確認等の手順を確認するほか、プール活動前には安全配慮や熱中症対策、救急救命措置の手順と実践の訓練に取り組んだり、冬の時期には嘔吐処理の手順確認と訓練を行うなど、必要な内容の周知と徹底を促している。また、子どもたちに手洗い・うがい等の保健指導を行うほか、全年齢を対象として、毎週の爪の確認を行う日を設けており、保護者に協力を依頼したり、園で爪切りの状況を確認したりして、ひっかき等のケガ防止や衛生管理の向上などにつなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	開園3年目を迎える当園の安定した運営基盤の確立に向けて取り組んでいる	
内容②	昨年度後半に着任した現園長は、開園3年目を迎える当園の安定した運営基盤の確立に向け、地域交流や地域支援、職員の育成に今年度取り組んでいる。職場体験生を受け入れる隣接の中学校との交流を図り、入園児の獲得の一助ともなるよう保育所体験や「リトルパルズひろば」の地域支援に努めている。また、保育の柱である「ウィズブックプログラム」の実践に向け、今年度、リーダー等の役割分担を明確にし、現場主導で進められるようにするなど、目指すところに向け組織を牽引している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもたちの多様な体験や育ちへとつながるよう、絵本を用いた独自のプログラムや、運動遊びなど、さまざまに取り組んでいる
	内容	絵本を用いた独自のプログラム「ウィズブック活動」では、子どもとのやり取りから得られた発想から制作・食育等の活動へと展開し、子どもの想像力や感性等が高まるようにしている。ネイティブの講師による「ウィズブックイングリッシュ」では年齢に応じたレッスンをを行うほか、他の曜日でも保育に入ること、英語での会話をしたり、絵本の読み聞かせや手遊びなどをしながら、子どもとの自然なふれ合いが行われている。さらに運動遊びの日を設け、年齢・発達に合わせた内容で、楽しみながら身体を動かし、体幹バランスや体力の増進につなげている。
2	タイトル	家庭との連携のもと、一人ひとりのペースに合わせた関わりを大切にしており、子どもの気持ちや意欲を尊重した支援に努めている
	内容	小規模園での特性を活かし、担任と保護者との直接的なコミュニケーションを大切にしており、子どもの様子を伝え合うことで相互の関係を深めながら、日々取り組んでいる。各家庭の意向や生活リズムなどを把握し、それに応じた配慮ができるようにしている。また、生活の中では子どものペースに合わせ、保育者が急がせることなく、子ども自身が行うことなどを見守り、自らの意欲を尊重しながら自立へとつながるような支援をしている。その際には保育者がゆったりと関わることで、子どもも落ち着いた雰囲気や空間で生活ができるように工夫をしている。
3	タイトル	各保護者に寄り添った支援や園でのさまざまな工夫等を行っており、保護者の負担軽減にも努めている
	内容	保護者との日頃の会話や運営委員会、行事後のアンケートなど、多様な機会で見向きを把握しており、運営の参考とするとともに、各保護者に寄り添った支援や園でのさまざまな工夫等に反映させている。保育参観ではオンラインを活用して給食の様子を配信したり、クリスマス会は自由参加にするほか、夏祭り・運動会など、親子で参加し、楽しめるような工夫もなされている。また、アプリを活用した情報共有と各便りなどの配信、乳児の食事用エプロンやおしぼりの園での提供、使用済みの紙オムツの園での処分など、保護者の負担軽減にも努めている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域の関わりを深める中で、園の認知度の向上を図りたいと考えている
	内容	開園3年目を迎える当園は、地域との交流を深める中で、園の認知度の向上を図り、入園児の獲得につなげたいと考えている。近隣住民への直接声をかけたり、イベント開催を園見学者にメールで案内したりして、ハロウィンでは地域の協力を得られている。一方で稼働率の向上を課題とする、「リトルパルズひろば」や保育所体験による地域の子育て支援は、その開催の案内方法や取組内容について工夫の余地がうかがわれる。地域の子育て支援の稼働率の向上に向けた、今後の園の工夫を期待したい。
2	タイトル	園としての保育・運営の軸をより確かにし、組織内で認識を深めるための取組と工夫を期待したい
	内容	開園3年目を迎える当園では、安定した運営基盤の確立に向け、過年度から職員の育成や保育の軸とする「ウィズブックプログラム」の着実な実践などに取り組んでいる。同プログラムに限らず、保育を組織内で高めよう工夫として、今年度リーダー等の役割分担を明確にし、現場主導で進められるよう取り組んでいる。ただ、職員会議等のスリム化のみならず、園としての保育や子どもへの支援のあり方を確かめ合う時間の確保などの業務の最適化や職員の意識向上を課題としており、今後の改善に向けた園の工夫を期待したい。
3	タイトル	将来の展望を見据えた園の運営に向け、着実な進捗を図るための指標を明示した園としての中長期・単年度の計画の策定が望まれる
	内容	園運営にあたり、本社の保育事業全体の運営面や保育面の各分野における課題や目標等に対する方針や取組を列挙した「中期計画書」と、これと連なる園の年度の事業計画書が策定されている。また園が抱える現状の課題解決に向けた年度の園目標が作成されている。将来の展望を見据えた園の運営にあたり、法人策定の中長期計画に示された方針に加え、園が現状抱える課題の解決するための園としての中長期計画とこれと連動する年度の事業計画の策定と、その着実な進捗を図るための指標の明示などについて一考されたい。